

施策マネジメントシート ～平成29年度の振り返りから30年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）（5月中に記入）

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野 ひと分野		担当課		福祉事務所	
	政策分野 健康・福祉		課長名		下川 法男	
	施策 21 地域福祉の充実		重点施策 の該当	H29	—	H30 —
施策の目的	対象	市民	意図	地域の中で互いに助け合い、支え合いながら暮らすことができる		

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)				最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標値	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値
西之表市に住み続けたい と思う人の割合(%)	68.8	66.4 (71.2)	72.0	74.0	76.0	78.0
家族以外で助け合える人 がいる人の割合(%)	75.6	74.4 (75.6)	78.0	80.0	82.0	84.0

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
83.6	28.4								
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
81.2	4.0								

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連 戦略 No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)				最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度目標値	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値
障がい者の自立支援	10-24	障害福祉サービス利用者数(居宅 介護・行動支援など)(人)	26	22 (36)	44	52	60	60
障がい者の自立支援	10-24	障害福祉サービス(就労支援)利 用者数(人)	112	101 (118)	124	128	130	130
ひとり親家庭の自立支援		資金貸付・自立支援等の相談 件数(件)	6	4 (10)	10	10	10	10
ひとり親家庭の自立支援		就業支援により自立できた件 数(件)	0	0 (0)	0	1	1	1
生活困窮者の自立支援		支援決定件数(件)	2	7 (5)	7	9	12	16
生活困窮者の自立支援		自立世帯件数(世帯)	9	37 (10)	20 (10)	10	10	10
地域福祉活動の推進		民生委員活動件数(件)	8,135	8,346 (8,150)	8,400 (8,200)	(8,400) 8,250	(8,400) 8,300	(8,400) 8,350
地域福祉活動の推進		支援ツール作成地区数(件)	7	7 (7)	12	32	52	72

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
各法の整備により、地域社会における共生の実現に向けた取組が進められている。また、「わが事・丸ごと」の地域づくりの強化に向け、「地域の中で互いに助け合い、支え合いながら暮らす」社会が求められている。	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成 果	保護率は減少傾向にあり、他法活用等により自立して生活できる方が増えている。 古田校区で取り組んだ「結の里事業(多世代交流・多機能型支援の拠点づくり事業)」で、地域支え合いマップの作成等を通じて、地域福祉充実にに向けたモデル的取り組みができた。
現状・課題	市民の悩み事や困り事が多様化しており、複数の要因が関連していることがあるので、係内、課内、関係課との連携強化が一層求められる。 地域福祉活動の推進に取り組む校区・自治体の醸成を図る。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
拡大・充 実	景気が緩やかに回復していく状況ではあるが、一方で、社会的支援なくしては自立した生活を送ることができない世帯も増えている。少子高齢、人口減少社会へ対応し、かつ、社会保障制度を持続可能としていくため、地域福祉の推進がますます求められる。

②-2 政策部会による振り返り(Check)（6月中に記入）

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
拡大・充 実	【市民福祉部会意見】 ○ 施策担当課が記載する方向性のとおり。